

革命の旗

共産主義者同盟
(革命の旗)
中央機関紙

第47.48 合併号
1981.10.5
4頁 150円
(毎月5日、20日発行)

発行人 北沢晋
発行所 赤流社
電話 (03)787-7699
東京都世田谷区千歳
郵便局 私書箱4号
振替 (東京)7-86947

定期購読料(22回分)
手渡し3000円
開封3500円(送料共)
密封4000円()

＝集会予定＝

10/31	10/11	10/5
ミッドウエー出撃阻止	横須賀現地闘争	三里塚全国総決起集会
正午 三里塚第一公園	寺尾差別判決七カ年	糾弾/狭山再審闘争

共産同(紅旗)と 共産同(革命の旗) の団結万歳

社共にかわる 単一党の大道へ

共同声明

①

共産主義者同盟(紅旗)と共産主義者同盟(革命の旗)は、両派が掲げた統合の六条件にもとづき二年にわたるねばり強い討議をおしすすめ、綱領・組織・戦術にわたる完全な一致を勝ち取り、統合を決定した。

この統合に至る過程は決して平坦なものではなかった。ある時は激しい論争、また幾人かの指導者の下獄や政治警察による弾圧というなかで行なわれなければならない。しかし、両派はプロレタリア階級民主主義、小ブル共産主義を総括し、その基礎のもとで日本共産党、日本社会党にかわる単一の革命的労働者党を創建するという熱意と努力によつて、一つ一つの障壁をとりのぞいていった。

②

こうした態度をつらぬいて、いま両組織はその完全な一致を綱領(規約)にうち固め、日本プロレタリア階級人民の革命の旗を鮮明にし、魅力にあふれた

単一の革命的労働者党を創建するための中核隊・先鋒隊となるべく団結を決定した。

われわれはわが国の社会発展段階、国家をめぐる階級と政治勢力の相互関係の客観的分析、および日本におけるプロレタリア階級の当面する中心的政治任務に関する主張で一致した。すなわち、プロレタリアートの社会革命をめざす党は、ブルジョア階級独裁国家を打倒し、アメリカ帝国主義をわが国から一掃し、プロレタリア階級独裁を樹立することを当面する社会主義革命の中心的任務とするこ

ととした。第三に、当面する戦術についてである。われわれは日本社会主義革命を勝利に導くため、全人民武装蜂起をめざす、敵の要塞に対する正規の攻囲軍を組織すること

で一致した。この計画された戦術をおしすすめるために重要なことは、全国政治新聞の発行をカナメとし、宣伝・煽動を履行し、共産主義と労働運動の結合をおしすすめる、全人民的政治闘争の発展を組織することである。第四に、以上三つの確認のうえで、いかなる党を建設するかである。

③

われわれは、プロレタリア階級独裁をカナメとした綱領に導かれる党建設が、工場細胞を基礎とし、職業革命家を中核とし、また地方への責任の分散化を補正手段とする中央集権化と、党内公開制・民主集中の組織運営であることと一致した。このことは、革命の根本思想政治の組織上の体现である。

第五に、われわれは「共産党・社会党にかわる単一の革命的労働者党」をめざすことと一致した。第六に、当面する情勢の基本認識においてである。現代世界がプロレタリア共産主義革命の時代であること、そして「革命の要素がいぜん発展しているが、帝国主義世界大戦の危険もまたつよまっている」情勢の基本認識で一致した。それ故、被抑圧民族と固く団結し、革命によって戦争をうちやぶる必要があることを確認した。

④

われわれは、プロレタリア階級独裁をカナメとした綱領に導かれる党建設が、工場細胞を基礎とし、また地方への責任の分散化を補正手段とする中央集権化と、党内公開制・民主集中の組織運営であることと一致した。このことは、革命の根本思想政治の組織上の体现である。

われわれの事業は、決して革命的気分のインテリゲンチヤを統合することにあるのではない。われわれの事業は「労働者階級の解放は、労働者階級自身の事業でしかありえない」という原則のもと、全国のプロレタリア闘士を厳格な原則のもと、単一の党へと統合することにある。

われわれは、プロレタリア階級独裁をカナメとした綱領に導かれる党建設が、工場細胞を基礎とし、また地方への責任の分散化を補正手段とする中央集権化と、党内公開制・民主集中の組織運営であることと一致した。このことは、革命の根本思想政治の組織上の体现である。

われわれの団結こそ、そうした旗印を鮮明にするものである。万国の労働者、被抑圧民族団結せよ、全国の共産主義者、労働者団結せよ、共産同(紅旗)と共産同(革命の旗)の団結万歳!

一九八一年九月二三日
共産同(紅旗)中央委員会
共産同(革命の旗)中央委員会

読者の皆さんへ!

読者の皆さんへ、共産同(紅旗)と共産同(革命の旗)は、統合大会を開催し、日本社会主義革命を闘いぬく単一の革命的労働者党創建をめざし「闘う党の旗印」として綱領(規約)を戦取しました。今十月下旬に発行予定の中央機関紙上において戦取された綱領・規約及び統合報告を発表します。読者の皆さんに統合された新組織への一層の協力・支援をお願いするとともに、率直な御意見・批判をひきつづき機関紙へ投稿くださるよう心から訴えます。全国津々浦々の全ての闘いを日本革命に向け、一本の赤い糸で結ぶ革命的労働者政治新聞への更なる成長をめざして、『革命の旗』機関紙局

二期工事着工阻止!

10.11 三里塚

現地へ!

正后 三里塚第一公園



60年安保闘争

I 新たな長征への出発

同志諸君、読者諸君、七月の共産同盟革命の旗結成から二年、われわれは今、単一の革命的労働者党創建に向けた新たな長征へ出発しようとして

民の闘い、中国共産党第十一期六中総における鄧小平体制の成立とプロレタリア文化大革命の全面清算等々。目を国際情勢から国内情勢に転じてみても、日米共同声明と日本帝国主義の軍国主義政策の推進、日韓外相会談を契機とした全斗煥政権への全面的テコ入れの開始、改憲一行政改革攻撃による政治反動の進行、右翼的「労働統一」の基本構想の発表と総評の大動揺、ライシャワー・エルズバークらによる日本への米核持ちこみの暴露と反安保・反核闘争の前進、先進的労働者・労働組合活動家の全国的交流の深化と階級的労働組合の統一の気運の高まり、動労千葉、電産中国、全港等

われわれは二年、公然と宣言した。「革命の旗」を掲げ、マルクス・レーニン主義の単一の全国的な革命党を創建する」と。しかし、われわれはこの宣言の物質化の闘いを、一瞬たりとも忘れることなく、一瞬たりとも放棄することなく、断固として推進してきた。そして共産同盟第三回大会は、現在のおかれは、全国的な単一のマルクス・レーニン主義党建設の命運を握っている」とし、日本共産主義運動の統一の「命運を握っている」と責任を押しつけて、全ての共産主義者との団結を柔軟かつ原則的に推進することを宣言した。われわれは、責任を貫徹し、紅旗派との統合を戦取した。同志諸君、われわれは紅旗派の統合の意義を強固に確認せねばならない。

意義の第一は、この統合が八三〇五年の日本階級闘争の大激動、大爆発を見据え、備え、闘いぬぐための統合であること。社会主義と労働運動の結合による正規の政治闘争の完全な一致。これこそが、綱領が現実の階級闘争へ降りていくための最重要環であり、八三〇五年の会戦を準備し、組織し、貫徹する鍵なのである。

意義の第二は、この統合が、日本共産主義運動の、分派から統合への転換を決定的に促し、強めるということである。

同志諸君、同盟第二回大会から一年、国内情勢は、八〇年代が「戦争と革命の時代」「疾風怒濤の時代」であることをはっきりと示した。

レーガン政権の登場と対ソ強硬軍備拡大政策の推進、イランにおけるパニナルの失脚と内戦状態への突入、ミッチェラン大統領の登場と「社共人民戦線」の成立、「社会主義の再生」をかけたポランド労働者人民の闘い、英帝国主義を揺るがす黒人暴動と北アイルランド人

まさに、戦争と革命の時代」である。われわれは、この「戦争と革命の時代」と真正面から対峙せねばならない。あらゆる訓練を恐れず、断固として闘い、八十年代を革命的に領導せねばならない。今や、反安保・改憲一軍事強化阻止闘争の全人民的發展、爆発は不可避である。

八三年「同時選挙」がこの闘いの爆発の引き金になる。われわれは史上三度目の「戦争と革命の時代」の最初の訓練を、紅旗派との統合の力を基礎に、日本革命の勝利に向けた大飛躍をかけ、プロレタリア国際主義を大胆に掲げ、前衛として闘い、闘いぬぐねばならない。そして労働者階級にしっかりと依拠し、社会主義と労働運動の結合で、革命的戦闘的闘争を糾合し、社共にかわる単一の革命的労働者党を創建せねばならない。

共産同(革命の旗) 第三回大会党務報告

二年間の党建設の意義を確認し 更なる前進へ

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

IV 第二回大会からの一年

同志諸君、昨年九月、われわれは同盟第二回大会の成功を開催を克ち取った。第二回大会は、統合大会以降から一年のわが同盟建設の闘いを正反面から

同志諸君、昨年九月、われわれは同盟第二回大会の成功を開催を克ち取った。第二回大会は、統合大会以降から一年のわが同盟建設の闘いを正反面から

同志諸君、昨年九月、われわれは同盟第二回大会の成功を開催を克ち取った。第二回大会は、統合大会以降から一年のわが同盟建設の闘いを正反面から

III 共産同(革命の旗)結成大会から第二回大会へ 一略

同志諸君、この四つの意義に集約される同盟二年間の闘いは、けつして平坦な道程ではなかった。

意義の第四は、全てこうした

同志諸君、この四つの意義に集約される同盟二年間の闘いは、けつして平坦な道程ではなかった。

意義の第四は、全てこうした

同志諸君、この四つの意義に集約される同盟二年間の闘いは、けつして平坦な道程ではなかった。

意義の第四は、全てこうした

II 二年間の闘いの意義

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

A 革命的な反戦闘争の前進と問題点

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

V 最後に

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。

同志諸君、新たな長征へ出よう。同志諸君、新たな長征へ出よう。



《出獄アピール》

準備はなつた！ 進撃しよう！

高原浩之

同志諸君！友人諸君！私は九月十一日に出獄しました。一九七〇年六月七日の逮捕以来、十一年三ヶ月です。その間の支援に感謝します。ここに獄中であつた七〇年代の私の活動から帰結し、出獄後の八〇年代の今後の私の活動の出発点をなす私の現在の決意を表明して、出獄にあつたのあきつと支援に対するお礼とします。私の現在の決意は、①裏切りと転向の祖国防衛主義、②日本帝国主义擁護を弾劾・批判し、革命的祖国敗北主義、③日本帝国主义打倒の立場を貫徹し、連合赤軍と赤軍派の総括に結着をつける。④ブンドの総括を深化し、日和見主義・修正主義の社会党・「共産党」にかわる革命的労働者党・マルクス・レーニン主義の共産党の創建のための、ブンドと新左翼の路線闘争と統合を推し進める。⑤修正主義・社会帝国主义に対する闘争を帝国主義・ブルジョア国家権力に対する暴力革命、プロレタリア階級独裁・社会主義革命の正規の攻囲戦に結びつけ、中核派、第四インター、解放派をのり越える、というようにまとめることができます。

① 連合赤軍と赤軍派の総括に結着を！

裏切りと転向の祖国防衛主義—自国帝国主義擁護を弾劾・批判し、革命的祖国敗北主義—自国帝国主義打倒をつらぬこう！

最も衝突であつたのは連合赤軍事件で、それは、日本の革命運動にとつて衝撃的な事件であつたからだけでなく、さらには、私が赤軍派に所属し指導部に位置していたからだけでなく、私が殺害された遠山美枝子同志の夫であつたからです。したがって、連合赤軍の総括とその必然的な発展である赤軍派の総括が、そしてそれが不可避に引き起こした赤軍派の党内闘争、分派闘争が私の活動の第一でした。

これは塩見との激しい闘争になりました。だから、このような事情からして私はまず最初に、このことについてはつきりさせておきたいのです。

その後、塩見と永田は「プロ革派」を除名され、今日「プロ革派」は塩見が起草した綱領草案を批判し、事実上、廃棄してあり、また塩見と永田は塩見が連合赤軍事件における赤軍派責任を回避し、森と永田に転化したことにより、対立しながらも共に反独占小ブルジョア民主主義を通じて反ソ祖国防衛主義に転落しています。ソ連は名は「社会主義」でも、実は帝国主義であるが、日本も帝国主義であり、ソ連と日本の対立・闘争は帝国主義と帝国主義の対立・闘争だから、ソ連社会帝国主义を一方とし、米、西欧、日本の帝国主义を他方とする第三次帝国主义世界大戦が不可避となり、現実化したつある今日における反ソ祖国防衛主義は自国・日本帝国主义擁護であり、プロレタリア階級を裏切り、ブルジョア階級に



68年10・21防衛庁闘争

同志諸君！友人諸君！私は九月十一日に出獄しました。一九七〇年六月七日の逮捕以来、十一年三ヶ月です。その間の支援に感謝します。ここに獄中であつた七〇年代の私の活動から帰結し、出獄後の八〇年代の今後の私の活動の出発点をなす私の現在の決意を表明して、出獄にあつたのあきつと支援に対するお礼とします。私の現在の決意は、①裏切りと転向の祖国防衛主義、②日本帝国主义擁護を弾劾・批判し、革命的祖国敗北主義、③日本帝国主义打倒の立場を貫徹し、連合赤軍と赤軍派の総括に結着をつける。④ブンドの総括を深化し、日和見主義・修正主義の社会党・「共産党」にかわる革命的労働者党・マルクス・レーニン主義の共産党の創建のための、ブンドと新左翼の路線闘争と統合を推し進める。⑤修正主義・社会帝国主义に対する闘争を帝国主義・ブルジョア国家権力に対する暴力革命、プロレタリア階級独裁・社会主義革命の正規の攻囲戦に結びつけ、中核派、第四インター、解放派をのり越える、というようにまとめることができます。

同志諸君！友人諸君！私は九月十一日に出獄しました。一九七〇年六月七日の逮捕以来、十一年三ヶ月です。その間の支援に感謝します。ここに獄中であつた七〇年代の私の活動から帰結し、出獄後の八〇年代の今後の私の活動の出発点をなす私の現在の決意を表明して、出獄にあつたのあきつと支援に対するお礼とします。私の現在の決意は、①裏切りと転向の祖国防衛主義、②日本帝国主义擁護を弾劾・批判し、革命的祖国敗北主義、③日本帝国主义打倒の立場を貫徹し、連合赤軍と赤軍派の総括に結着をつける。④ブンドの総括を深化し、日和見主義・修正主義の社会党・「共産党」にかわる革命的労働者党・マルクス・レーニン主義の共産党の創建のための、ブンドと新左翼の路線闘争と統合を推し進める。⑤修正主義・社会帝国主义に対する闘争を帝国主義・ブルジョア国家権力に対する暴力革命、プロレタリア階級独裁・社会主義革命の正規の攻囲戦に結びつけ、中核派、第四インター、解放派をのり越える、というようにまとめることができます。

② ブンド総括の深化を！

日和見主義・修正主義の社会党「共産党」にかわる革命的労働者党—マルクス・レーニン主義の共産党創建のために、ブンドと新左翼の思想闘争・路線闘争と統合を推し進めよう！

赤軍派の分裂以来、ブンド系の分裂に次ぐ分裂が進行しました。獄中において、このことで客観的に分析することができ、同時に他方では、赤軍派の総括は必然的にブンドの総括に発展しました。

赤軍派の分派以来のブンドの相次ぐ分派闘争は同質性があり、まず小ブルジョア急進主義のテロリズム(的傾向)と(戦闘的)経済主義的傾向への分裂として(戦闘的)経済主義的傾向への分裂として始まりかつ進行したこと、小ブルジョア急進主義は学生運動の戦術的闘争に決起すると展望し、労働者階級の階級闘争で経済闘争や民主主義闘争の戦術的闘争化が武装蜂起・革命戦争に発展し、プロレタリア階級独裁・社会主義革命が実現されることと展望しており、テロリズムと(戦闘的)経済主義の混合であり、ブンドは「学生運動の先駆性」の理論や「反帝闘争をプロレタリア革命へ」の戦略・戦術で小ブルジョア急進主義を党派性として提唱した暴力革命・プロレタリア階級独裁の原則と日帝打倒・社会主義革命という日本革命の政治路線、第一次ブンドが提起した自国帝国主義打倒の原則とアジアの社会主義・民族解放闘争と結合する国際闘争の政治路線、これらの側面では肯定的に総括し、継承すべきであるが、主義革命をめざして進撃しなければなりません。

連合赤軍事件と赤軍派の破産は、国際共産主義運動の中で、林彪四人組事件による中国のプロレタリア文化大革命の挫折およびポル・ポト政権によるカンボジア共産党の挫折と関連させて総括されなくてはなりません。小ブルジョア急進主義が国家権力を掌握して空想共産主義を実行すれば、プロレタリア階級独裁と社会主義が修正主義の国家権力掌握(官僚制国家・資本主義へ変質、転化する)により、資本主義も封建制も飛びこえて奴隷制(アジア的な総括奴隷制)の専制支配を出ていくべきです。七〇年代の決算です。八〇年代は戦争と革命の時代です。われわれは革命的祖国敗北主義—自国・日本帝国主义打倒の立場を貫徹し、プロレタリア社会主義革命を推し進めよう！

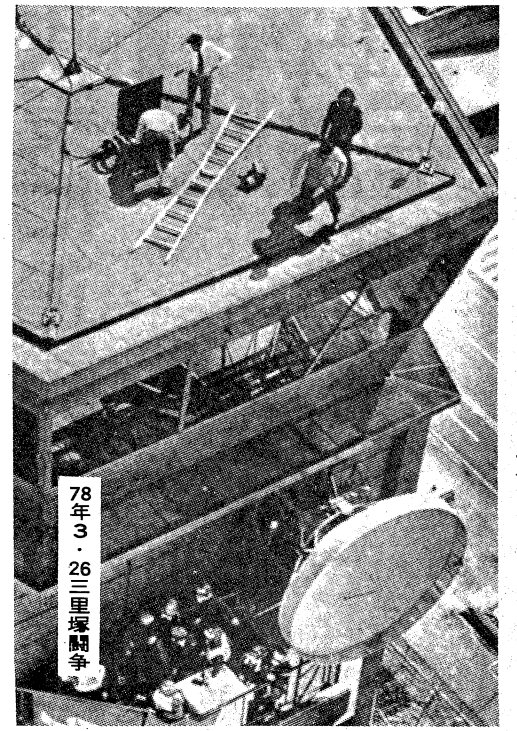
思想路線の基本は小ブルジョア急進主義(とトロツキズム)であり、このため政治路線の面では主として社会主義革命の原動力の問題で労働者階級に依拠し階級闘争を組織することができ、戦術の面では、暴力革命、プロレタリア階級独裁・社会主義革命の宣伝・煽動と組織化を遂行できなかったものであり、これらの点では否定的に総括し、清算すべきであること、これらのことは、既にML派の結成の時期に明らかにしました。

ブンドは国際共産主義運動の中で、中国共産党のソ連・共産党との対立・論争、分裂・闘争をはじめとする現代修正主義との分裂・闘争と関連させて総括されなくてはなりません。この修正主義との分裂・闘争は、暴力革命、プロレタリア階級独裁、社会主義革命といった一般的な原則、普遍的な真理を防衛することはすでにできて、それを社会主義中国に適用するプロレタリア階級独裁の下での継続革命あるいは帝国主義日本におけるプロレタリア階級独裁の社会主義革命とプロレタリア階級独裁の社会主義革命といった具体的な問題、実践に適用し結合することはすでにできて、実際には小ブルジョア急進主義に主導されていたという点であり、マルクス・レーニン主義を獲得する、あるいは防衛し発展させるには、現代修正主義との分裂・闘争と同じ地点に到達したのです。

革命の旗派と紅旗派の統合はブンド系のマルクス・レーニン主義派の統合が終つたということ。ブンド系は他分派は全て小ブルジョア急進主義です。新左翼派も中核派、第四インター、解放派をはじめとして全て小ブルジョア急進主義か、日和見主義です。だが、われわれは革命の旗派と紅旗派の統合の後、ブンド系の中でも最大分派ではない、中核派、第四インター、解放派とは比較にならない程の少数派です。しかも情勢は日本帝国主义が日米安保体制を再編強化し、憲法を改悪し、戦争と反動、軍国主義と国家主義につき進み、帝国主義の社会的支柱として社会帝国主义の総括、右翼労働統一による帝国主義労働運動の強化と統合を推し進め、これに対して戦闘的階級の労働組合運動の独自の結集とそれを中心とした安保粉砕・改憲阻止の全国的共闘機関の結成が実現され、それ

四面上敵へつづく

三面下段からつづく



78年3月26日三里塚闘争

在るのであり、それを主観的に否定する... 中国のプロレタリア文化大革命は、社会主義におけるプロレタリア階級独裁の下での継続革命の特殊な性質をつかめず...

フランス共産党の場合には完全な右翼日和見主義であり、社会党と連合し、国会で多数を制して政府を組織すれば社会主義革命が実現できるかのように展望し...

現在の日本帝国主義の反動・国家主義は、社会的支柱、強化されるブルジョア国家権力の社会的基盤を、危機の中で没落した小ブルジョア階級の反共・反革命...

政治長征 創刊号 結成宣言、綱領草案、規約、第一回大会政治報告...

から「侵略反革命阻止」に転換し、さらには「侵略反革命阻止」を「プロレタリア革命へ」転化する戦術をめぐる党内闘争が分派闘争に転化し、赤軍派分派以来の相次ぐ分派闘争で崩壊しましたが、では第一次分派の結成そのものが誤りだったのでしょうか？

このように分派の総括を深化し、ブルジョア階級を推進することは、国際共産主義運動の中でソ連の変質、スターリンの批判と中国の挫折、毛沢東の総括という問題と関連させて把握されるべきです。

このために小ブルジョア急進主義が資本主義におけるブルジョア階級独裁に対する暴力革命と同一化して、共産党とプロレタリア階級独裁、社会主義の国家と社会を破壊するのを許したのであり、

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

現在の日本帝国主義の反動・国家主義は、社会的支柱、強化されるブルジョア国家権力の社会的基盤を、危機の中で没落した小ブルジョア階級の反共・反革命...

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

現在、中核派と解放派が「対カクマル戦」を推進し、これを第四インターが「内ゲバ主義」と批判しています。新左翼の三天党派のこの対応のなかに小ブルジョア急進主義と小ブルジョア日和見主義が集中的に表現されており、路線闘争によつて新左翼をマルクス・レーニン主義で統合するためには、この問題に関する明確な態度をうち出さなくてはなりません。

今日われわれは、マルクス・レーニン主義のプロレタリア革命派であり、われわれの路線はアジアの社会主義国、民族解放闘争と結合し、連社会帝国主義と米帝国主義の覇権主義に反対し、日本帝国主義打倒・米帝国主義追放、プロレタリア階級独裁・社会主義革命を実現するという日本革命と国際闘争の政治路線、および革命戦争、武装蜂起のために、労働者階級のマルクス・レーニン主義を建設し、人民の社会主義統一戦線を結成する正規の攻囲という当面する戦術などを眼目としています。

現在、中核派と解放派が「対カクマル戦」を推進し、これを第四インターが「内ゲバ主義」と批判しています。新左翼の三天党派のこの対応のなかに小ブルジョア急進主義と小ブルジョア日和見主義が集中的に表現されており、路線闘争によつて新左翼をマルクス・レーニン主義で統合するためには、この問題に関する明確な態度をうち出さなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

から「侵略反革命阻止」に転換し、さらには「侵略反革命阻止」を「プロレタリア革命へ」転化する戦術をめぐる党内闘争が分派闘争に転化し、赤軍派分派以来の相次ぐ分派闘争で崩壊しましたが、では第一次分派の結成そのものが誤りだったのでしょうか？

このように分派の総括を深化し、ブルジョア階級を推進することは、国際共産主義運動の中でソ連の変質、スターリンの批判と中国の挫折、毛沢東の総括という問題と関連させて把握されるべきです。

このために小ブルジョア急進主義が資本主義におけるブルジョア階級独裁に対する暴力革命と同一化して、共産党とプロレタリア階級独裁、社会主義の国家と社会を破壊するのを許したのであり、

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

現在の日本帝国主義の反動・国家主義は、社会的支柱、強化されるブルジョア国家権力の社会的基盤を、危機の中で没落した小ブルジョア階級の反共・反革命...

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

現在、中核派と解放派が「対カクマル戦」を推進し、これを第四インターが「内ゲバ主義」と批判しています。新左翼の三天党派のこの対応のなかに小ブルジョア急進主義と小ブルジョア日和見主義が集中的に表現されており、路線闘争によつて新左翼をマルクス・レーニン主義で統合するためには、この問題に関する明確な態度をうち出さなくてはなりません。

中核派、第四インター、解放派をのり越えよう！

修正主義・社会帝国主義に対する闘争を帝国主義、ブルジョア国家権力に対する暴力革命・プロレタリア階級独裁と結びつけよう！

反革命に対して武装闘争する以上、それを帝国主義に対する武装闘争の準備に結びつけてはならないこと。これは当然のことです。しかし、革マル派はファシズムではなく、社会帝国主義、労働運動における帝国主義ブルジョア階級の手先で...

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

プロレタリア単一党創建のため、思想闘争路線闘争を不断にやりぬこう

今日われわれは、マルクス・レーニン主義のプロレタリア革命派であり、われわれの路線はアジアの社会主義国、民族解放闘争と結合し、連社会帝国主義と米帝国主義の覇権主義に反対し、日本帝国主義打倒・米帝国主義追放、プロレタリア階級独裁・社会主義革命を実現するという日本革命と国際闘争の政治路線、および革命戦争、武装蜂起のために、労働者階級のマルクス・レーニン主義を建設し、人民の社会主義統一戦線を結成する正規の攻囲という当面する戦術などを眼目としています。

現在、中核派と解放派が「対カクマル戦」を推進し、これを第四インターが「内ゲバ主義」と批判しています。新左翼の三天党派のこの対応のなかに小ブルジョア急進主義と小ブルジョア日和見主義が集中的に表現されており、路線闘争によつて新左翼をマルクス・レーニン主義で統合するためには、この問題に関する明確な態度をうち出さなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

われわれは、党の中央集権制の組織原則と党内闘争の原則を確立、堅持し、ブルジョア階級を統合する路線闘争を強力に推し進めなくてはなりません。

プロレタリア単一党創建を労働者階級の共同事業へおしあげよう！

赤流社でも取扱っています。

同盟の出版物

政治長征 創刊号 結成宣言、綱領草案、規約、第一回大会政治報告...

革命的な反戦闘争を構築するために 八〇年六月 四〇〇円

安粉砕・改憲阻止 闘争の発展のために 八一年七月 三〇〇円

自治体労働運動の階級的再生に向けて 横浜市役所反対闘争の教訓から 八一年七月 一〇〇円

都区職労働運動の革命的再生を！ 八〇年三月、六月 一〇〇円